

音読

漢詩のリズミカルな
言葉のひびきを味わいましょう

年

名前

漢文1

『春暁(しゅんぎょう)』は、漢詩(かんし)の一つです。漢詩は、中国の国の伝統的な詩です。漢詩がもつ、力強くリズミカルな言葉のひびきを味わいながら読みましょう。

しゅんぎょう

春暁

もつこうねん

孟浩然

しゅんみんあかつき

春眠不覚暁

春眠暁を覚えず

おぼ



しよしよていちやう

处处聞啼鳥

处处啼鳥を聞く

き

やらいふうう

夜来風雨声

夜来風雨の声

こえ

はな

花落知多少

花落つること知んぬ多少ぞ

たしょう

〔解説〕

春の眠りは心地よく、いつ夜が明けたか気がつかない。
あちらでもこちらでも、鳥のさえずりが聞こえる。
昨夜は雨や風の音が聞こえた。
花がいったいどれくらい散ったことだろうか。

読んだ回数 ()で囲む	
11	1
12	2
13	3
14	4
15	5
16	6
17	7
18	8
19	9
20	10

先生の評価 ()	私の評価 ()	よい姿勢	すらすら読む	漢文の暗唱	意味が言える
()	()				

()とてまひこ

よこ

もつしこ